

麻醉科・疼痛医学分野

試験問題

2023年5月17日(水)

試験時間：9:45-11:15(90分間)

1. 解答用紙は1問につき1枚使用し、各用紙(10枚)の左上に問題番号、右上に出席番号、氏名を記入すること。
2. 10問の解答を各用紙に簡潔に記述すること。
3. 不的確な記述は減点の対象となるので注意のこと。
4. 不正行為は取り立てて指摘はせず再試験とする。

- 1-1 術中神経モニタリングの目的を述べよ。
- 1-2 脳動脈瘤クリッピング術が運動誘発電位モニタリング併用下に予定され、これから術前麻酔計画を立てる。( )の中から最も適切なものを一つ選べ。
- ・ 鎮静薬 (プロポフォール、セボルフラン、デスフルラン)
  - ・ 鎮痛薬 (フェンタニル、レミフェンタニル、モルヒネ)
  - ・ 筋弛緩薬レベル (ロクロニウムボラス投与、ロクロニウム持続投与)
  - ・ モニタリング機器 (BIS モニタ、脳組織酸素飽和度、視覚誘発電位モニタ)
- 2 帝王切開術を行うために、左側臥位で脊髄くも膜下麻酔を施行し、仰臥位としたところ、低血圧を生じた。低血圧の原因と対応を述べよ。
- 3 経食道心エコーでの、経胃中部短軸断面像を図示し、右冠動脈 (RCA)、左前下降枝 (LAD)、左回旋枝 (LCX) の典型的な支配領域を大まかに示せ。
- 4 フレイルの評価基準に含まれる5項目をあげよ。また、フレイルが高齢の手術患者に及ぼす影響を述べよ。
- 5-1 小児は成人より容易に低酸素血症になりうる。この理由について、以下の語句について成人の場合と比較しながら説明せよ。  
[ 酸素消費量、機能的残気量、分時換気量 ]
- 5-2 小児患者の麻酔導入時には、患児の協力が得られず静脈ラインが留置できない場合がある。この場合どのような麻酔導入方法が考えられるか、導入に用いる薬剤名を挙げつつ、その方法について説明せよ。
- 6 低体温によっておこる周術期合併症を、その機序を含めて3つ述べよ。
- 7-1 用手的な気道確保(マスク換気)と比較して、①声門上器具を用いた場合の利点、②気管挿管を行った場合の利点を述べよ。
- 7-2 気管挿管の欠点、合併症を述べよ。
- 8 低酸素性肺血管収縮 (HPV) について説明せよ。また、HPV を抑制する因子を列挙せよ。
- 9-1 非心臓手術患者で合併心疾患の評価を行う際、運動耐容能が何 METs 以下であれば心疾患リスクが低いと考えられるか。また、それはどの程度の運動を行うことができることか具体的に述べよ。
- 9-2 虚血性心疾患の患者に全身麻酔を施行する際、心筋への酸素供給に影響する因子を4つ答えよ。
- 10-1 赤血球濃厚液、新鮮凍結血漿、濃厚血小板、それぞれ保管方法について記せ。
- 10-2 輸血後GVHD (Graft-Versus-Host Disease : 移植片対宿主病) について簡潔に病態を説明し、その発生を防ぐために血液製剤に対して行われている対策を述べよ。

医学部麻酔・疼痛制御学講座チュートリアル試験 解答用紙

問題番号： \_\_\_\_\_ 出席番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

## 麻酔科について

### 1：出席等について

たまに出席を取っておりました。

### 2：コアタイム等について

アクティブラーニングは問題を解き、それを講義する形式でした。

### 3：麻酔科の合否情報など

本試の実施日は2023年5月17日でした。

本試の合格発表は2023年6月5日でした。

再試対象者は22名でした。